



# THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2015

# ひがし 2013

チャーター 2004. 4. 25 No.131

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPAINES EVERY RIGHT  
第1例会 第1月曜 熊本テルサ(19:00~21:30)  
第2例会 第3土曜 ながみねY.M.C.A(17:00~19:00)

Digitized by srujanika@gmail.com

アイザック・パラシンカル（インド）

「アジア、世界はひとつ」 岡野 泰和（大阪土佐堀）

「ツをつないでゆく」 松本 武彦（大阪西）  
名述 三四（能人）

国際会長	主題「言葉より行動を」	標語「今すぐやろう!」	アイザック パラシンカル(インド)
アジア会長	主題「未来を始めよう、今すぐに」	標語「ひとつのアジア、世界はひとつ」	岡野 泰和(大阪土佐堀)
西日本区理事	主題「響き合い、ともに歩む」		
	—こころ豊かにワイス活動を展開し、ワイススピリットをつないでゆく—	松本 武彦(大阪西)	
九州部部長	主題「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」		鶴浦 正行(熊本にし)

熊本ひがしクラブ

## 会長主題：「美しく生きる」

## 第11代会長 横田 博

スローガン：「マイペースで輝こう！」



## 2月例会 リーダー感謝会

3月

J W F  
Japan  
West  
Y's Men's  
Fund

イエスは再び十二人を呼び寄せて、自分の身に起ころうとしていることを話し始められた。……「人の子は仕えられるためではなく、仕えるためには、また、多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来たのである。」  
(マルコ福音書10章32・45節)  
2月18日、灰の水曜日から四旬節です。復活祭前のイエスの受難を知り、思う期節です。  
「人の子」とはイエスさまご自身のことです。これから受ける死への苦しみを知つておられたというのです。「身代金」は以前の聖書の訳では「あがながない」でした。わたしたちの罪をあがなうために、十字架上での苦しみを受けてくださったのです。イエスさまがわたくしたちに仕えて、命を捧げてくださいました。わたしたちに互いに仕え合う生き方を願つておられます。それが真実（ほんとう）の生き方だよといわれるのであります。

神の前には皆罪人、といふ意識はわたし自身なかなか確かなものにはなつていないので正直なところです。しかし、イエスの無償の愛によつて、わたくしの命があるのだと感謝して、復活祭（4月5日）を待ちたいと思います。（平山美保）

今月の聖句

2月例会出席記録	在籍会員数 25名	第1例会 13名	第2例会 10名	マイカップ 2名	
	例会出席率 56.0%	出席総数 28名	メネット、コメット 9名		

## 会長通信



### 開いている扉に

会長 横田 博

1月、2月と第二例会で皆さんからEMCについてのご意見や思い、方策などを語ってもらっています。皆さんのお話を聞いていて、ワクワクしてきます。お互のなかにある熱い思いを表し、伝え、受け取ることができるからです。この第二例会 자체が、EMCの最前線だという気がします。地道な積み重ねの第二例会ですが、気持ちをことばにすることによって、人は整理されますし、クラブは成長します。第二例会で思いをどんどん語りましょう。

EMCはクラブ存続と発展の生命線であるのは当然ですが、クラブの体質・そのふところの深さの見せ所でもあると思います。新しい風を入れて人は刺激を受けながら、クラブは目的を持ってその道を歩み続けているのですから。

クラブに入ってみようという気になってもらうには、志ある熱い思いの集ったところに来てもらうことです。エネルギーの溢れた場所に。そのエネルギーに包まれてしまえば、開いている扉の中に一歩、入ってみようと思われるでしょう。その扉は狭くない、ただこれまで知らなかっただけで。その意味でも、新春合同例会はいいと思います。そして今年は、新春に入会式を執り行うことができたのも素晴らしいスタートでした。

自分が感じるワイズの魅力は、皆さんそれぞれです。その魅力を人に伝えましょう。知らされなければ、人は知ることができないからです。どんな時でも。一人ひとりの輝きが、クラブの力強さをつくっていくのです。

### 考 EMC

私がワイズに入会したのは、1986年です。ジェーンズクラブのチャーターメンバーとして入会したのですが、最初は何をしていいのか全く分かっていませんでした。しばらくして、時任ワイズから菅会長の手伝いをしてくれと言われ、色々な役割を与えられました。まず、ドライバー委員として例会の運営・企画・司会等をするようになりました。当時は、熊本クラブとジェーンズクラブの2クラブしかもく、よく合同で活動をしたものでした。メンバー数も26名でスタートしましたが、その年には40名近くまで会員が増えました。

ワイズに入会して一番良かったのは、菅夫婦や田中夫婦と知り合えたことです。また、IBC（国際兄弟クラブ）で韓国釜山の世宗（セジョン）クラブと交流出来たことです。釜山へ訪問して、初めて向こうのメンバー宅へホームステイを経験しました。私にとっては初めての事で、とても感動したことを覚えています。

その後、積極的にワイズ活動にかかわり、九州部や日本区のクラブにも多くの友人が出来ました。ワイズの醍醐味は、何といっても交流だと思います。

多少お金と時間はかかりますが、交流によって受けた感動は、本当に素晴らしい事です。出来ればメネットやコメットも含めて交流すると、家庭内で共通の話題が出来ます。これこそが夫婦円満・親子円満に繋がると確信しています。

次々期は、ひがしクラブから宮崎ワイズが九州部長として、輩出されます。九州部内のクラブを公式訪問される時、一緒に他クラブを訪問されませんか。自分のクラブの例会だけに出席していても絶対に得られない経験が出来ると思います。まず、自分が楽しんでそれを自分の友人・知人に語って下さい。そして例会に誘ってください。私のワイズ人生はとても素晴らしいので、皆さんにも是非お勧めします。（7代会長 加藤國博）



1992年5月 右から2人目が加藤ワイズ

# 理事通信

2015年3月号  
3月1日発行



## 主題：「響き合い、ともに歩む」

“Walk Together, Echoing Each Other”



中之島・中央公会堂

— こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —

— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

西日本区理事 松本 武彦

2月18日から21日に掛けて、宮城県岩沼の仙台空港寄りの地から岩手県宮古市までの海岸沿いの町々の復興状況を見るべく、仙台YMC A総主事と盛岡YMC A総主事のご案内で、現地訪問をしました。

津波でなぎ倒された防風林の林木が残されたままであるほかは、訪問先のほぼすべての地区において、瓦礫撤去作業がほぼ終わっているものの、田畠の除塩作業や復興住宅建設のための地盤嵩上げ工事に漸く着手できたと言えるような状況であって、地元に残っている被災者の大多数は仮設住宅住まいであり、これから先も当分の間は仮設住宅住まいを続けなければならないようで、現地のこのような状況を考えるとき、YMC Aやワイズメンズクラブなどのボランティア団体に現在、そして、これから先、求められる支援活動は、被災者の方々が楽しみ喜ぶプログラム、明日に向かって生活意欲が高まるプログラムを開拓してゆくことが感じました。

私たち西日本区が支援している盛岡YMC A・宮古ボランティアセンター、仙台YMC A・東日本大震災支援対策室、YMC A石巻支援センターは、地域被災者のこのような状況を考えて、県内外の高校生・大学生ボランティアユースたちなどの協力を得て、子供たちにはリフレッシュキャンプやサッカー教室・水泳教室などを体験させ、高齢者にはお花教室や料理教室などを楽しんで頂く活動を開拓しています。そして、地元のワイズメンズクラブがYMC Aによるこれらの支援活動に協働するほか、遠方地のワイズメンズクラブも折々、これに馳せ参じておられます。私が訪れた日、被災者の方々が地元の寺院に集まり、ワイズメンがリーダーとなって歌声を合わせる「YMC A歌の広場」が開かれ、参加者たちが手をつなぎ、肩をたたき合い、楽しく歌っておられたので、私も参加し、楽しい時間を過ごしました。

みなさま、第18回西日本区大会への登録はお済ましでしょうか？あっ！登録まだだ！・・の方は、一日も早い登録をお願いいたします。

お手元に案内書が届いていると思いますが、今回はメンバーお一人づつに直接お送りいたしました。クラブ会長の手間を少しでも省くためです。登録も同様、個人個人で行っていただくこととしていますが、お一人がご自分以外の方の分も一緒に登録申込することも可能ですので、パソコン得意の仲間に一緒にやってもらうのもいいかもしれませんね。登録はWEBでの登録申込みと zwarですが、FAXでの申込みも可能です。

今回のプログラムの目玉は落語家 桂吉弥さんの「講演と落語」です。2007年NHK朝ドラ「ちりとてちん」に徒然亭草原役で出演以来、テレビのいろいろな番組に出演、すっかり人気者です。もう一つの目玉は「ユース活動報告」です。是非、若者のはじけるパワーを感じる時として下さい。前夜祭「フラナイト」も魅力的ですよ。

西日本区理事 松本 武彦  
大会実行委員長 吉田 由美

### 3月強調月間 JWF (西日本ワイズ基金)

皆様の感謝の気持ちが、ワイズ運動を支えます。JWF献金にご協力をお願いします。  
JWFは、ワイズ運動を支える基金です。個人として冠婚葬祭の際やクラブの記念行事などの節目にJWF献金申込書(区HPの資料庫→諸届け用紙→JWF管理委員会)にメッセージを添えてお申込みください。その記録は西日本区に代々伝えられる奉仕帳に寄贈者と寄贈理由が刻まれ、永年保管されます。JWFの意義を覚えて、皆様からのご芳志をどうかお願い致します。

高瀬稔彦 JWF管理委員長  
(岩国みなみクラブ)



## 第一例会報告



2月2日（月）に、ながみねファミリーYMC Aにおいて第一例会が開催されました。今回の例会は「リーダー交流会」も合わせて開催され、ワイズメンバーの他に7名のリーダーが参加して行われました。

通常通り、横田会長の開会宣言・開会点鐘で始まり諸報告がされました。YMC Aからの報告として募金の現状報告がされ、ながみねファミリーYMC Aとしては、目標達成までもう少しということで最後の協力のお願いがされました。また、防災フェアの取り組みについての意見交換が行われ横田会長、菅ワイズ、平山ワイズ、歌野ワイズから建設的な意見が出され、今後が楽しみなイベントとなりそうです。

ハッピーバースデイ＆アニバーサリでは記念撮影を行い、和気あいあいとした雰囲気で進んでいきました。

今回は特別なイベントとして馬場ワイズの代表取締役就任のお祝いも行われ、「大正10年に祖父が開業し4代目を仰せつかりました。入社17年で、先輩方に比べるとまだまだですが初心を忘れず、また学びの心を忘れずに頑張っていきたいと思います。」との抱負を語られました。

リーダー交流会では各リーダーからの自己紹介後、今年成人式を迎えたリーダーを代表して「こぐまリーダー」にワイズメンズクラブからのお祝いが渡されました。リーダーのアピールタイムでは「今年も広安愛児園のお友だちと交流会を予定していますので、是非協力してください。また、リーダー会の研修会を3月に行いたいのでワイズメンズメンの方々と調整させていただいており是非協力してください。」とのお願いがされました。

その後は各ワイズからのアピールがあり、和やかな雰囲気の中にもいろいろな意見が出され今後も益々活発なひがしワイズメンズクラブになるのではとの期待が持てるような月例会でした。 (岩本 芳久)

## 鹿児島クラブ25周年

### 鹿児島クラブ創立25周年例会に参加して

2月14日（土）に開催された25周年記念例会にひがしクラブからも宮崎ワイズ、平山夫妻と菅夫妻の5人で参加して参りました。参加者は全部で60名近くと九州部の勢いからすると少し少ない印象でしたが、松永会長始めクラブのクラブの皆様方の心温まるおもてなしに感銘して帰って参りました。ひがしクラブからは祝金として2万円ほど贈呈しました。

式典には、松本理事ほか高瀬直前理事、亀浦九州部長、九州部各クラブの会長や会員の皆様方が参席され、特筆すべきは、遠くブラジルのIBCイタペパクラブからジョージ森山ワイズが見えられていたことです。父方が日本人の日系2世のかたでした。

プログラムは鹿児島YMC Aで活動中のチアダンスクラブのはつらつとしてエネルキッシュなダンスで幕開けし、引き続き松永会長が情熱と愛情を持って、鹿児島の未来を創って行きたい、新クラブを早いうちに作り、鹿児島YMC Aの発展を支えて行きたいとのメッセージがあり、参加者一同、鹿児島でこれから何かが起こるなどの予感を感じた次第です。引き続き理事、九州部長の来賓挨拶、25年の歩みの映像プレゼンテーションと進み、第二部基調講演で、西郷南洲顕彰記念館長の高柳毅さんから、歪められた西郷像を正す「今、甦る、眞の西郷像」と題しての歴史資料を駆使してのお話があり、



チアダンス「ウィザーズ」



(p 5に続く)



## メネットコーナー

### リーダー感謝会報告

2月2日（月）、ながみねファミリーYMC Aでリーダー感謝祭を行いました。7名の参加がありましたが、成人式を迎えたリーダーには、ひがしクラブから2千円の図書券をお祝いに贈りました。

リーダーをしたことで、いろんな人と出会うことができ良かったと感想を述べていました。鉢盛を食べながら歓談し、楽しいときを過ごしました。「広安愛児園の子供と遊ぶプログラム」についての発表がありました。昨年から20~25人の小学生を対象に、アンケート調査をして子供たちが遊びたいと思っている遊びと一緒にするというプログラだそうです。大きいお兄さんお姉さんとニコニコしながら遊ぶ子供たちの笑顔が目に浮かぶようでした。最初から最後まで自分たちで考え、企画し、実践するということは、自主性を養い社会に羽ばたくリーダーたちの自信に繋がると信じています。

その他、こぐまリーダーによる東ティモールでのサッカー交流について発表があり、3月末の研修会では、「自分たちの将来の設計」というテーマで話し合うそうです。その設計の中に“ワイスメンクラブに入会する”があれば幸いですが、……夢ではないことを祈ります。

（メネット 菅 美代子）



例会に参加したメネット



成人のお祝いを



謝辞を述べる中堀実行委員長と鹿児島クラブの皆さん

歴史は常にねつ造されやすく、通説や誤った認識が伝えられやすいことを改めて認識された次第です。

特に、高校の歴史教科書では、西郷隆盛の名前が登場するのは、「明治6年征韓論に決着がつくと、西郷隆盛・板垣退助・副島種臣羅の征韓派参議が一斉に下野し、その背景には広範な士族の不満の高まりが…、明治10年西郷隆盛を首領として、鹿児島県の私学校生を中心とした大規模な士族の反乱が起きたが…」と行った程度の記述しか無いのですが、眞の西郷像は座右の『敬天愛人』の語で知られる様に、西郷は聖書をひもとき、深く聖書を理解し、いわゆるイエスの山上の垂訓の理解や、キリスト様は大地に血を染み込ませて生涯を後世に刻んだのとキリスト認識を持ち、当時としては立派なクリスチヤンではなかったのかとの認識を示されました。

熊本市の某ミッション系のスクールの標語にもなっている文言ですが、やっとその意味が納得された次第です。また西郷翁は同郷の大久保利通らとの征韓論に破れて下野したとの認識が一般に流布していますが、実際の西郷翁は『征韓』という言葉は一言も使っておらず、むしろ、平和的な使者として朝鮮に赴き、迫りくるロシアの植民地化南下政策を食い止めるために、清国と朝鮮国と日本が手を結ぶ、修好のために朝鮮に赴きたいとの意図（遣韓論けんかんろん）が本意であったとのことです。もともと征韓論は、今、大河ドラマでも注目されている吉田松陰が『幽閉録』の中で主張した朝鮮に赴き人質を取り、日本に朝貢させよ』との教えを明治政府の長州勢力が実行しようと画策していた背景から生まれたもので、西郷翁は朝鮮征伐ではなく朝鮮友好を考えていた認識が正しいいようです。考えてみれば『敬天愛人』を座右としキリスト者に限りなく近かった西郷翁が征伐を意図するはずは無いなど納得した次第です。

その後、懇親会に移り、オープニングに小学生バンドの大人顔負けのバンド演奏を楽しみ、楽しい懇親会で友好を深めました。平山、菅夫妻は宿泊しましたので、二次会、三次会まで松永会長、中堀メン・メネット、人見ワイズ（京都パレス）、千代盛ワイズ（ジェーンズ）たちと、ワイズ談義に遅くまで花を咲かせました。

翌日は、鍛冶屋町にある維新ふるさと館を訪問したのちに、高柳館長に再会するために西郷南洲顕彰館（さいごうなんしゅうけんじょうかん）に赴き、西郷翁の墓に参り、メネット達は黒豚を堪能し、昼過ぎに帰熊の途につきました。（菅 正康）



西郷南洲顕彰館にて菅知三郎（ヤングクラブ）会長

## 「YMCA・ワイズの源流」の学び！ (20)

**市原 盛宏** (いちはら もりひろ)



1853年5月17日（安政5年4月5日）～1915（大正4）年10月4日

牧師、実業家、政治家、熊本バンド成員のひとり。

熊本県阿蘇町に村上直七の長男として生まれ、幼少の頃、市原喜平太の養子となる。1872年、熊本洋学校に入学。76年1月、キリスト教への入信を決意した花岡山奉教結盟に加わり、6月ジェーンズより受洗。同志社に転入学。在学中より西京第一、第二公会の仮牧師に就任し、安中、近江、丹波地方に伝道。

1879（明治12）年同志社英学校予科を卒業、直ちに幹事となり学校の経営に当たり、新島襄の信任を得た。84年、新島襄の欧米旅行に際してはその留守を預かり、仙台に東華学校が開設されると、86年新島襄校長代理として赴任。

89年、イエール大学に留学。日本の製糸貿易に関する研究で博士号を受け、93年帰国。同志社法学教授、のち教頭、小崎弘道の留学中は同志社社長、校長代理を務める。

95年川田小一郎に招かれて日本銀行に入り、99年渋沢栄一に認められて第一銀行に入行、翌年横浜支店長となる。在任中、同地の有力者と横浜貿易研究会を設けて経済界の発展を図り、1903年～06年、第4代の横浜市長を務めた。06年より第一銀行総支店支配人として韓国の通貨整理、幣制改革に当たる。09年10月、韓国銀行（のち朝鮮銀行）が設立された際に初代の総裁に就任。現職のまま京城で死去。京城基督教青年会館で朝鮮銀行葬が執行された。東京雑司ヶ谷靈園に葬られる。

市原のことを評して、徳富蘇峰は「流暢に英語を話し、メモを取らずに一気に流れるように雄弁に通訳した」と話している。

布教活動、教会運営、学校運営においても同僚の小野英二郎（同志社法政学校教授）は「人に接するや胸襟を披瀝し毫も憚ることなし。常に至誠をもって一貫し、事に臨んで周到なる注意をなし、之を実行するや剛毅なる胆力を以てす。」 渋沢栄一は「機に投じ変に応じる自由な弁才」と評し、優れた実行力の所有者であった。渋沢の欧米旅行の随行を命じている。 (文・企画 歌野清三)

### Y M C A サービス

国際協力青少年育成年未募金の目標額を前年の1200万円から、今年は1500万円に上げて設定し、皆様に協力をお願いして参りました。お陰様で、目標を上回る15,509,960円（2月3日現在）が捧げられました。昨年10月の募金運動キックオフから始まった皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

感謝会乾杯の発声は、わが熊本ひがしきラブの馬場ワイズ。この度、馬場電機商会の第4代社長に就任されたばかりです。企業の皆様からのご協力を感謝します。また少人数であるにも拘わらず積極的に

貢献した学生を代表して佐伯さんに感謝状が渡されました。

今後は、YMC Aに以前関わりをもっておられた、いわゆるO Bの方にも知っていただきたいと考えています。裾野を広げましょう。「YMC Aに募金するなら大丈夫」という意識を社会の中に醸成するべく努力を続けます。また、この募金の使途が明解であるようにと、皆様からご意見をお聞きしております。理解を深めるためにも、大事なことと考えています。

(熊本YMC A副会長 平山俊生)



2月13日（金）募金感謝会



## Y M C A 通信

連絡主事 中村賢次郎

### 【目標1500万円達成！】

国際協力青少年育成年末募金の目標1500万円を達成することができました。個人、企業、団体、街頭募金、チャリティイベントなど様々な形での募金が集まり、大きな力となりました。ながみねファミリーYMCAでも、特に子どもたちから、一人ひとりの額は小さくても多くの子どもたちが関心を持って募金に参加してくれたことはとてもうれしいことでした。ひがしワイズメンズクラブの皆様にも大きな支えをいただきましたこと感謝申し上げます。



### 【自治会・YMCA防災協議会】

託麻南校区8町内自治会とながみねファミリーYMCA共催の防災プログラムについて協議会を行いました（1月31日）。

自治会、自主防災クラブ、老人会、子ども会とYMCA、ひがしワイズメンズクラブと、熊本県立大学の学生にも協議会に参加いただき、地域の方々と若い世代と意見交換を行いました。



### 【防災体験ツアー・防災プログラム】

防災プログラムを3月29日（日）に行います。今回ははじめての試みで、事前学習会を行いその発表までを考えています。熊本市広域防災センターを訪問し。火災時の避難体験、台風体験、地震体験などを行い、自分たちの町でこれらの災害が起きたときにどう対応するべきかなどを考えます。防災体験ツアーは、3月14日（土）9：00から～です。ご参加よろしくお願いします。



ディザスター車

### 【リーダー会主催 児童養護施設ボランティア】

ながみねファミリーYMCAで日頃、子どもたちの水泳教室、サッカー教室などに関わるリーダーたちが「自分たちにできるボランティアは何か」を考え、児童養護施設の広安愛児園の子どもたちをYMCAに招待し、レクリエーションを通して楽しい時間を過ごすプログラムを実施しました。

若い世代のユースリーダーたちが自分たちの自主性とパワーを生かした企画に拍手を送りたいと思います。



## 良く生きる

### 吉田松陰から学ぶ

歌野 清三

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に伴い、幕末の代表的教育者・吉田松陰が注目されています。吉田松陰といえば、「尊敬する歴史上の人物」、「上司になってほしい有名人」などの上位ランクになっています。わずか30年の短命ですが、後の明治維新への気運を高め、伊藤博文や山県有朋らを輩出した松下村塾を設立するなど、多大な功績を残したことで知られています。

吉田松陰の人格形成について関心があり、調べてみました。松蔭は幼少の時から生涯をかけて猛烈な学問を続けた人で、11才で兵学の講義を行うほどの秀才ぶりを発揮しています。1460冊の書物を読んだ記録もあります。

松蔭の人格は孟子と山鹿素行の説く士道の実践によって形成されたと言われています。「人間は尊貴の存在であるという信念に基づく人間愛と、人の長所と短所を的確に見抜く人間洞察の眼力を持ち、師弟の信頼関係を最も大切にしたものであったそうです。

松蔭は「仁の道」を実践し、私心を去り、己を修め、民の安定に生涯をかけ、これを「至誠」と表現し、何事にも自分の全力を出し尽くして、全身全霊で取り組み単に書物の知識だけでなく、常に実践による経験が裏付けられていたと言われています。傍観者ではなく、常に自分自身を正面から対象にぶつけ実践していきました。松蔭が相手を説得する希有の力を持っていたのも、このような努力の賜だったということをわたしたちも学ぶべきだと感じます。

### ハッピーバースディ＆アニバーサリ

#### 3月バースディ

5日 加藤 國博 14日 池田 安隆  
4日 菅 美代子（めぐみ）

- 1 いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに  
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン  
絶えせず めあて望み この身を捧げつくさん
  - 2 歌えば 心ひとつに ともがき ひろがりゆきて  
遠きも近きもみな ささげて立つやワイズメン  
栄えとほまれ豊か まことは胸にあふれん  
。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。
- なごりはつきねど つどいは果てぬ  
きょうひとひのさち しづかに思う

## 3月例会

3月2日（月）19:00

司会	熊本テルサ
開会宣言・点鐘	岩本 芳久
ワイズソング「いざたて」	横田 博
ワイズメンズクラブ目的唱和	員員員員
会長挨拶	横田 博
ゲストビジター紹介	司会者
卓話「益城指定管理受託から今だから話せる」	YMCAスタッフ
食前感謝	宮崎 隆二
乾 杯	副会長 田上 裕章
ハッピーバースディ＆アニバーサリ	
諸報告	
なごりはつきねど	
閉会点鐘	会長 横田 博

## 3月以降の予定

3月2日（月）第一例会

19:00 熊本テルサ

「益城指定管理受託～今だから話せる」

3月15日（日）YMCAサッカー大会

9:00～14:00 益城町陸上競技場

3月15日（日）九州部第3回評議会

3月21日（金・祝）第二例会

16:00 ながみねファミリーYMCA

3月21日（金・祝）リーダー卒業式

18:00 ながみねファミリーYMCA

3月24日（火）熊本連絡会議

19:00 中央YMCA

3月29日（日）防災プログラム・ぼうさい探検隊

9:30～13:00

ながみねYMCA託麻南校区8町内自治会共催

4月6日（月）第一例会

4月26日（日）ワイズチャリティ駅伝大会

（5月第一例会に振り替え）益城町陸上競技場

## 2月第二例会

第二例会 2月16日（月）19:00～21:00

横田、加藤、岩本、田上、歌野、平山（記録）

門永、菅、宮崎、中村 ながみねファミリーYMCA

1. EMC活動についての意見を募る

2. 3月例会

3. 4月例会 卓話者第一候補・八木監督に  
(女子サッカー・益城ルネサンス) 宮崎ワイズが  
依頼する。ご無理なら会員卓話。

4. 5月例会 4月26日（日）ワイズチャリティ  
駅伝大会に振り替えとする。<承認>

5. リーダー卒業祝い 印鑑付きボールペンを贈る  
<承認> 3月21日（土）第二例会と卒業式

6. YMCAから ぼうさい探検隊開催について

7. チャリティランのファンド、支援について協議  
8. 年末募金報告 菅ワイズ（YMCA会長）